

大振幅水平振動台

HVMM

油圧を全く使わず、コンセントが有れば試験可能
 高度な実波形制御から安価な制御無し正弦波駆動まで
 お客様のニーズに合わせた設定が可能。
 永久磁石方式の為、励磁電源不要で環境にもランニングコストにも
 やさしく、エコ時代に最適な振動試験機です！



最大 250mmp-p(片振幅 125mm) の大振幅を実現



感震装置の動作確認



垂直大振幅オプション



2方向多軸試験

地震波の再現（フィードフォワード制御）が可能！

永久磁石方式専門の旭製作所が作った 精密水平大振幅モデルです

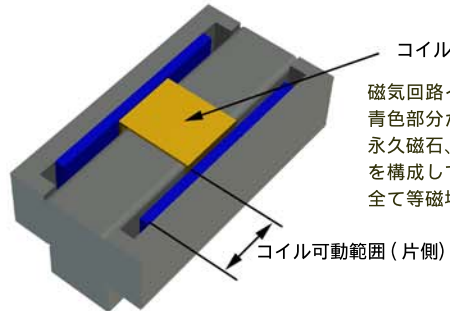
主な用途

地震波の再現 耐震性能計測 構造物の周波数応答計測 カオス振動実験
感震装置の性能検査 人工地震用起振機 など

大振幅動電型振動試験装置 HVM シリーズの特徴

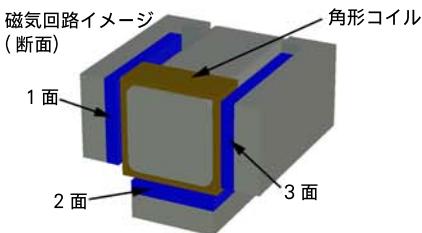
磁気回路

超強力ネオジウムマグネット採用
励磁電源不要でエコ&省エネ
コイルがどの位置でも同じ力で
加振できる等磁場磁気回路
波形精度に振幅が影響されません



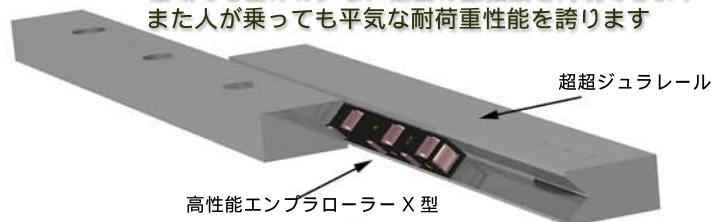
コイル

スクエアコイルによる3面を駆動面として使用し、従来の水平に比べて30%の効率向上を実現しました(当社CEL比)
耐熱平角銅線使用



特許ベアリング

特許 2668327 号 特殊クロスローラーベアリング採用
高性能エンブラローラーとアルミ最強の超超ジュラルミンレールによる軽量かつ超スムーズな動き、油圧を使わず低域でも歪みの少ない低歪み正弦波を再現できます
また人が乗っても平気な耐荷重性能を誇ります



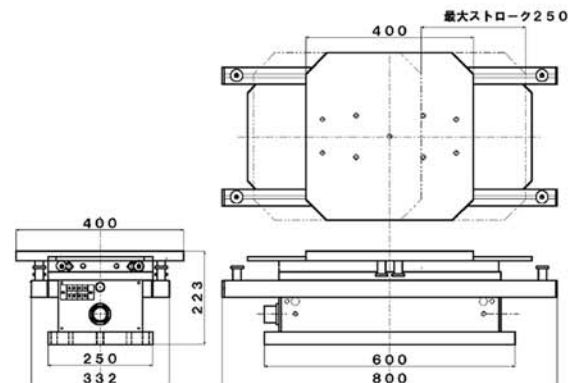
最新電力増幅器 APD1500
デジタル DC アンプ
CPU 搭載でプロアー制御
変換効率 70% を達成
トランスレスで軽量



システム構成例
正弦波から実波形まで幅広く対応。
サーボセンサーと組み合わせれば数ガルからの制御も出来ます

HVM シリーズ仕様一覧

シリーズ名		HVM		
モデル名		50250	70200	100150
特徴		大振幅モデル	バランスモデル	大出力モデル
振動発生機部	加振力 (N)	490	686	980
	周波数範囲 (Hz)	0~20	←	←
	正弦波時最大加速度 (m/s ²) (テーブル無)	28.8 (40.8)	39.2 (54.8)	54.4 (75.3)
	最大振幅 (mm-p)	250	200	150
	可動部質量 (Kg) (テーブル無)	17 (12)	17.5 (12.5)	18 (13)
	最大搭載質量(Kg)	150	←	←
	加振機質量 (Kg)	140	←	←
	補助加振テーブルサイズ(mm)	400 x 400	←	←
	大きさ (WxDxH)(mm)	400x800x223	←	←
	電力増幅器部	定格出力 (VA)	1500	←
最大電流 (Arms)		15	←	20
最大電圧 (Vrms)		70	←	100
最大入力電圧 (VO-p)		10	←	←
SN比		50dB以上 (70V出力時において)	←	50dB以上 (100V出力時において)
消費電力 (VA)		2200	←	2800
本体質量 (Kg)		20	←	←
大きさ (WxDxH)		480X550X250	←	←
電源		3相200V	←	←
振動発生機 + 電力増幅器 組み合わせ価格		¥3,480,000	←	¥3,880,000



HVM50250 標準タイプ (テーブル付) 外観寸法図

 有限 旭製作所

〒191-0065 東京都日野市旭が丘1-27-30 TEL042-584-1136 info@e-asahi.co.jp